



Empowering Networks for Business

【報道資料】

2004年5月27日  
アロットコミュニケーションズ

## アロットコミュニケーションズ、 QoSツールで初めて「NetEnforcer®」にSoftEtherの不正使用を防止し、 アクセスを制御する機能を追加

SoftEtherのトラフィック認識機能の追加により、従来のWinnyトラフィック認識を含めて、ネットワークアプリケーションの不正使用による情報漏洩対策を強化することが可能に

アロットコミュニケーションズ(本社:イスラエル・テルアビブ、社長:Eran Ziv <エラン・ジヴ>、以下「アロット」)は本日、帯域制御機器である**NetEnforcer®**にSoftEtherのプロトコルを監視制御する機能を追加し販売を開始します。これによりネットワーク管理者は、企業内のSoftEther不正使用者が特定可能となり、ネットワークのセキュリティをより堅牢に保つことが可能になります。

ネットワークに関する専門知識や対応機器を必要とせず、簡単かつ安価にVPN(Virtual Private Network)を構築可能とするソフトウェアであるSoftEtherへの関心が高まっています。しかしながら、SoftEtherを利用した場合、既存のネットワーク上の様々な規制やアクセス制限を回避し、完全に自由な通信を行うことができるため、企業のネットワーク管理者にとっては、外部からのウイルスや不正ファイル、更にはデータの外部流出などセキュリティの観点からSoftEtherに対する監視が非常に重要になってきています。

アロットの**NetEnforcer®**は、従来、レイヤ7(アプリケーション層)を流れるトラフィックを分類することが可能でしたが、今回、SoftEtherのプロトコルを監視制御する機能を追加したことで、ネットワーク上のSoftEtherトラフィックを自動検知、監視、ブロック、及び制限できるようになりました。また、SoftEtherトラフィックが、HTTPまたはSocksプロキシ経由でも、あるいは直接ファイアウォールを通過したものでも認知が可能です。ネットワーク管理者は**NetEnforcer®**を使用することで、SoftEtherトラフィックが検知された時には警報を出すと同時にトラフィックをブロックし、使用帯域を制限する特定のポリシーを構築することができます。さらに、**NetEnforcer®**のリアルタイム・トラフィック・モニタリング機能を使用することで、管理者はSoftEtherを使っているユーザのIPアドレスを把握することが可能です。

今回、**NetEnforcer®**にSoftEtherのプロトコルを認識する機能を追加したことに伴い、販売パートナーであり、システムインテグレータである、エス・アンド・アイ株式会社(以下、「S&I」)の担当者およびアロットのテクノロジー/マーケティング部門担当者から以下のコメントが寄せられています。

「SoftEtherは企業のセキュリティシステムに抜け穴を作る危険性をもっているため、対応の必要性は日毎に高まっています。S&Iでは自社のネットワーク管理にアロットの**NetEnforcer®**を導入し、SoftEtherトラフィックの検知並びに管理を実施しています。これにより、**NetEnforcer**でネットワークを管理することが如何に重要であるかを実感しました。今後、S&Iは、自社で得られた経験を基に、我々の顧客に対してアロットの製品並びにソリューションを提供していきたいと考えています。」

エス・アンド・アイ株式会社  
MIS マネージャー  
野口 敬之

「アロットでは常に最新のサポート体制で市場にでる新しいプロトコルのサポートに注力しています。レイヤ7でのSoftEther、や暗号化されたP2Pなどのトラフィックを制御する対応策を講じることで、企業は自社のネットワーク接続を最大限に活用し、セキュリティの脅威からの保護、ミッションクリティカルなアプリケーションのパフォーマンスを向上、ネットワークオペレーションのコストを削減できます。」

Allot Communications  
テクノロジー & マーケティング部門、バイスプレジデント  
アジィ・ローネン

## **Allot Communications について**

Allotが推進するポリシーベースのネットワーキングは、サービスプロバイダや大学・企業などにトラフィック管理とコンテンツ・フィルタリング、アプリケーションのパフォーマンスの向上、ネットワークコストの削減、遅延の影響を受けやすいアプリケーションを効果的に展開するソリューションを提供します。Allotのソリューションにより、企業ネットワークの運用責任者は、ユーザの生産性と満足度の向上/制御そしてコスト削減のためのネットワーク上での個々のアクションを、ビジネス・ポリシーと関連付けることができるようになり、QoSを本格的に展開できます。また、IPサービスプロバイダのネットワークの分野では、AllotのQoS/SLAソリューションを活用することで、超過登録者の管理、アップストリーム/ダウンストリームリンクでのP2Pトラフィックの制限、そして階層化サービス、クラス別サービスを提供することが可能になり、投資効果を最大化することができます。Allotは、米国、フランス、シンガポール、日本、イスラエルにオフィスを持ち、OEM と流通チャンネルを介して、世界中にその製品を販売しています。詳細については、ホームページ (<http://www.allot.com>) を御参照ください。

## **エス・アンド・アイ株式会社について**

エス・アンド・アイ株式会社は、LAN/WANのネットワークインフラ構築に強く、そのノウハウを生かして無線LAN関連ソリューションやセキュリティ関連ソリューションなど幅広く、トータルなネットワークソリューションを展開しています。詳細については、ホームページ (<http://www.sandi.co.jp>) をご参照ください。

【本リリースについてのお問い合わせ】  
Allot Communications  
広報窓口：フライシュマン ヒラード ジャパン  
鎌田、大久保、宮内  
電話：03-3524-4620 FAX：03-3524-4602  
eメール：kamatat@fleishman.com